

## 「第3回地域SNS全国フォーラム in 佐賀」レポート

インターネットを使った新しい地域メディアの可能性を探る「第3回地域SNS全国フォーラム in 佐賀」(佐賀県、佐賀新聞社などで行う実行委員会主催)は2008年10月17、18日の二日間、佐賀県佐賀市の佐賀県立美術館ホールを主会場に行われた。全国から約二百人が参加。初日は全体会と3つの分科会に分かれ、二日目はSNS運営者と利用者による討論を行い、地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の意義や方向性について意見を交わした。

全体会では県最高情報統括監の川島宏一氏を司会に、博報堂DYメディアパートナーズの上路健介氏、国際大学グローバルコミュニケーションセンター研究員の鈴木謙介氏、ブロガーでネット事情に詳しい藤代裕之氏が討論した。

三氏は「人と人のつながりを開拓し、これまでの絆(きずな)を強めていく」という地域SNSの意義を再確認する一方、ネット上にどこまで個人情報を出すかといった「距離感」の問題点を提起。解決のためには地域SNSの目的を明確にし、オープン性を確保することが大切とした。また、現実的な「特典」を提供することで今後の可能性が広がると強調した。

分科会は「地域SNSの可能性」「協働プラットフォーム」「家庭教育支援」の三テーマで討論。大学生が運営に参画する地域SNSの取り組みなどが紹介され、参加者も今後の目標などを熱心に質問した。

開会に先立ち、古川康知事が「このフォーラムを契機に、各地の地域SNSが活性化することを期待している」とあいさつした。

二日目は地域SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の運営者と利用者による総括的な討論を行った。参加者は二日間の論議を通し、地域SNSがまちづくりに果たす役割、可能性を確認。「誰もが心の豊かさを享受できる地域社会づくり」に向け、佐賀宣言を採択した。

総括討論には佐賀、福岡、鹿児島県の四地域SNSから、八人がパネリストとして登壇。日経メディアラボ所長の坪田知己氏と国際大学グローバルコミュニケーションセンター研究員の庄司昌彦氏の進行で「地域SNSへの期待」をテーマに意見を交わした。

パネリストは情報発信や交流の広がりなど地域SNSの意義、成果を報告。「地域を愛し、良くすることが地域メディアの原点」とし、各地のSNSが手を握り、時に競争し合う方向性を確認した。

地域SNS全国フォーラムの地方での開催は初めてでした。第3回のフォーラムは実行委員会形式ですが佐賀新聞社が中心になって運営を行い、初めて地元メディアが主体となったケースです。そのため、どちらかといえば行政色が弱く、民間色が全面に出たのが特徴ではなかったでしょうか。また、新聞社ならではの紙面広告企画を組むなど独自の企画も行いました。



### 第3回地域SNS全国フォーラム in 佐賀～地域SNSの方向性探る～

2008年10月17日(金)、18日(土) 会場: 佐賀県立美術館ホール、佐賀城本丸歴史館、佐賀県職員互助会館

主催: 第3回地域SNS全国フォーラム実行委員会

後援: 総務省九州総合通信局、国際大学GLOCOM、佐賀県教育委員会、佐賀市、NHK佐賀放送局、STS  
サガテレビ、エフエム佐賀、NBCラジオ、佐賀県ケーブルテレビ協議会

協賛: 富士通ソフトウェアテクノロジーズ、ぐるなび、NEC

特別協力: NTT西日本佐賀支店、(社)九州テレコム振興センター

#### 【プログラム】

17日

13:00~14:40 歓迎の挨拶 古川康佐賀県知事 【佐賀県立美術館ホール】

メインセッション 地域SNSを斬る！—今なぜ「地域SNS」なのか

モデレータ 川島 宏一 佐賀県最高情報統括官

パネリスト 上路 健介 博報堂DIYメディアパートナーズ

鈴木 謙介 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

藤代 裕之 ブロガー

15:30~17:00 パネルセッション1 【佐賀県立美術館ホール】

システム連携で広がる地域SNSの可能性—クローズドネットワークとつなぐ

モデレータ 庄司 昌彦 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

パネリスト 手嶋 守 手嶋屋代表取締役

服部 達也 Finearc 代表取締役

虎岩 雅明 TRYWARP 代表理事

溝呂木健太 厚木市市政企画部

15:30~17:00 パネルセッション2 【佐賀城本丸歴史館】

協働プラットフォームとしての地域SNS—地域力を高めるツールに育てていくには

モデレータ 坪田 知己 日経メディアラボ所長

パネリスト 和崎 宏 インフォミアム代表取締役

村山 良臣 宇治大好きネット代表

竹内 和朗 新上五島町情報化推進室

15:30~17:00 パネルセッション3 【佐賀県職員互助会館】

家庭教育支援とSNS—文部科学省プロジェクトにみる事例と課題

モデレータ 河井 孝仁 東海大学文学部広報メディア学科准教授

パネリスト 宮島 真希子 神奈川新聞社/子育て支援コミュニティ横浜実行委員会

榊原 直哉 フォークソノミー代表取締役

本村 桂子 小城市児童センターゆうゆう三日月所長

18日

10:00~12:00 総括セッション 【佐賀県立美術館ホール】

「地域SNS」に期待すること—運営者と利用者の本音をつなぐ

モデレータ 坪田 知己 日経メディアラボ所長

庄司 昌彦 国際大学GLOCOM

パネリスト めいさん、池田耕毅さん (NikiNiki・鹿児島)

温泉太郎さん、案浦スミタカさん (VARRY・福岡)

ジジキさん、熊添伸一さん (おおむたSNS・福岡)

ひとみ♪さん、吉木正彦さん (ひびの・佐賀)